

施設長だより 令和 8 年 9 月号

～いつもの暮らしを守るために～

■ご挨拶

9 月を迎え、暦の上では秋となりましたが、雨模様の日も多く、天候の移り変わりを感じる頃となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。館内を歩いていると、ご利用者が思い思いの時間を過ごされ、職員との何気ない会話を楽しまれている姿を目にします。こうしたいつもの穏やかな時間に触れるたび、施設は皆様にとって「暮らしの場」であることを改めて感じます。そして、この何気ない日常を守るためには、日々の支援とともに、「もしもの時」への備えも欠かすことができません。

今月は、9 月 3 日に文京区とともに実施した「福祉避難所訓練」についてお伝えします。

■地域の安心を支える「福祉避難所」

災害が発生した際、高齢の方や障害のある方など、一般の避難所で生活することが難しく、特別な配慮を必要とする方がいらっしゃいます。

そうした方々を受け入れ、必要な支援につなげていくために設けられるのが「福祉避難所」です。

文京千駄木の郷も、地域の中で福祉避難所としての役割を担っています。

9 月 3 日には文京区の職員の皆様とともに訓練を行い、福祉避難所の役割や開設・運営の流れについて改めて確認しました。



当日は説明を聞くだけでなく、実際にパーテーションを広げたり、避難される方が使用するベッドを組み立てたりしながら、受け入れに必要なスペースや準備について確認しました。

「知っている」から「動ける」へ

マニュアルを読み、備品の場所や手順を知っていても、災害時にすぐ行動できるとは限りません。

実際に手を動かしてみることで、「どのくらいの場所が必要なのか」「どのように設置するのか」など、具体的に確認できることが多くありました。

災害は、いつ起こるか分かりません。だからこそ、平時から確認し、実際に経験しておくことが大切だと感じています。文京千駄木の郷は、ご利用者の暮らしを守る施設であるとともに、地域の中にある福祉施設でもあります。

今回の訓練を一度きりにせず、文京区や地域の皆様とも連携しながら、いざという時に必要な役割を果たせる施設を目指してまいります。



■館内で見つけた、いつもの風景

防災について考える一方で、私が日々大切にしたいと思っているのが、ご利用者の「いつもの暮らし」です。

館内を歩いていると、ご利用者がそれぞれの場所で思い思いに過ごされている姿を目にします。作品づくりを楽しまれる方、職員との会話を楽しみにされている方、ゆっくりとご自身の時間を過ごされている方。それぞれの過ごし方があります。

行事のような特別な時間だけでなく、こうした何気ない時間も、その方にとって大切な暮らしの一部です。

これからも館内を歩きながら、皆様の日々のご様子や声に触れ、一人ひとりがその方らしく過ごせる環境を職員とともにつくっていきたいと思います。



■敬老会を開催します



9月は敬老の日を迎えます。

文京千駄木の郷でも、皆様がこれまで歩いてこられた長い年月に敬意を込めて、敬老会を予定しています。ご利用者お一人おひとりには、それぞれの人生があり、ご家族との時間があり、大切にされてこられたことがあります。

私たちは、その歩みに敬意を払いながら、これからの日々も安心して、その方らしく過ごしていただけるよう支えてまいります。敬老会当日のご様子についても、改めて皆様にお伝えできればと思っています。

文京千駄木の郷 敬老会：9月24日(木) 14:00～15:30まで



■施設長より

防災というと、訓練や備蓄など「特別な備え」に目が向きがちです。

しかし、その先にあるのは、ご利用者のいつもの暮らしを守ることだと思っています。そして、文京千駄木の郷には、日々ここで生活されている皆様を支えるだけでなく、地域の中にある福祉施設として担う役割もあります。

「知っている」だけではなく、「いざという時に動ける」。

今回の福祉避難所訓練で得た気づきを、これからの備えに繋げ、日常の穏やかな時間を大切にしながら、もしもの時にも皆様と地域の安心を支えられる施設でありたいと思います。

■Instagram更新中！

文京千駄木の郷では、Instagram でも日々のご様子を発信しています。

ご利用者の日常や季節の行事、レクリエーション、地域との交流など、施設長だよりだけではお伝えしきれない文京千駄木の郷の様子をご紹介します。

ぜひご覧いただき、施設での暮らしを身近に感じていただければと思います。



文京千駄木の郷

施設長 石川 正美